

①学習の目標

- ・登場人物の会話や行動から、心情の変化を読み取る。
- ・登場人物どうしの交流をとおして、人と人との触れ合いについて自分の考えをもつ。

②準備するもの

- ・教科書 ・国語のノート（大学ノートを1冊準備してください。線が太めのものを推奨。記名を忘れず。）
- ・ワークシート「小さな手袋」（三省堂 教科書・教材 <https://tb.sanseido-publ.co.jp/homelearning/>）
両面印刷（4枚）する。1枚目余白に学年・クラス・番号・名前を書き、左上をステープラで留める。
- ・国語辞書、漢字辞典（あれば）…漢字の読みや言葉の意味を調べられるもの。
- ・ワーク「国語の学習2」

③学習の方法・手順

※学習漢字ノートは毎日15分などと時間を決めて取り組みましょう。

※4時間に分けて取り組むことをお勧めします。以下に4時間の学習の流れを書きました。

がんばってみてください。

※ワークシートは、「三省堂 教科書 教材」で検索。（<https://tb.sanseido-publ.co.jp/homelearning/>）

三省堂のHP→ ○お知らせ 新型コロナウィルス感染症対策による学校の臨時休業への対応について

〔ご案内〕家庭学習用教材について→中学校国語→ワークブック→2年生用→「小さな手袋」

(両面印刷で4枚)

1時間目

- 1 「小さな手袋」を音読する。読みない字は調べる。
- 2 ワークシートP4～5を使って、語句の意味や使い方を学ぶ。（ワークP7も同趣旨の内容）
- 3 疑問に思ったことがあれば、調べてみる。
- 4 初読の感想をノートに書く。

2時間目

- 1 登場人物設定や段落分けを考えながら、「小さな手袋」を読む。
- 2 ワークシートP6～9（【場面4】まで）の問い合わせに取り組む。（下段の読み取りのヒントを読みながら。）
- 3 答え合わせをして、間違ったところを納得するまで復習する。
(それでもわからなかったら、後日質問できるようにノートにメモしておく。)

3時間目

- 1 教科書を見ながら、ワークシートP9～10（【場面5～6】）をやる。
- 2 記述問題については、以下④の学習のポイントを参照のこと。
- 3 三省堂 教科書・教材 <https://tb.sanseido-publ.co.jp/homelearning/> の「読み方を学ぼう」のアニメーション動画「2年読み方を学ぼう2 象徴」を視聴する。
- 4 ワークシートP11をやる。
- 5 答え合わせをして、間違ったところを納得するまで復習する。
(それでもわからなかったら、後日質問できるようにノートにメモしておく。)

4 時間目

- ①の学習の目標を振り返って、理解できているかを確認する。(目標を再確認する。)
- ワーク「国語の学習2」P6~11をやってみる。
- 答え合わせをして、間違ったところを納得するまで復習する。
(それでもわからなかつたら、後日質問できるようにノートにメモしておく。)

④ 学習のポイント・取り組み方の例

ワークシート・ワークに取り組むときの注意点&ポイント

◆ 問題をよく読み、面倒がらずに、本文中の問題の指示示す「ことば」や「文章」の前後の部分を読み返しましょう。

◆ 問題文の求めていることを確認しよう。

例)

二年半後、シホがおばあさんのこと思い出した「ちょっとしたきっかけ」はどのようなことでしたか。教科書のことばを使って書こう。

「どのようなこと」と聞かれてるから、「……こと。」と答えればいいんだな。「教科書のことば」を使って書くんだな。と考えましょう。これらをしっかりと理解することが、考え方のヒントにもなり、正答の基準になります。

◆ ① 学習の目標について

「登場人物の会話や行動から、心情の変化を読み取る。」とは・・・

◎ 会話 「」の部分や心の声から、心情を読み取ることができる。

例) 「やつぱり聞いてみようっと。」(シホの会話)

「やつぱり」という言葉から、どうしようか迷っていたことがわかる。

「聞いてみようっと。」の語尾からは、やや軽い気持ちが読み取れる。

◎ 行動を表すことばから、心情を読み取つたりすることができる。

例) とつさに、シホは伏し目になり、足もとだけを見るようにして、そろそろと後ずさつた。(シホの行動)

この時大事なのは、ことばの意味をよく考えることと、語彙力を養うことです。日常的に意識して積み重ねていく必要があります。

この時大事なのは、ことばの意味をよく考えることと、語彙力を養うこと

⑤ 自己評価の仕方

- 答え合わせをして、間違ったところを納得するまで復習する。
(それでもわからなかつたら、後日質問できるようにノートにメモしておく。)
- 特に、記述問題は間違っても良いので、自力で書いてみることが大事。
正解かどうか心配な人もいるでしょうが、授業再開後、再確認しますので安心してください。

① 学習の目標

「武家政治の成立と封建制度について考えよう」

② 準備するもの

教科書 p 58～63、問題集「社会の自主学習」本誌 p 28～31、社会の自主学習ノート p 15～17

③ 学習の方法・手順

1. 教科書の上記ページを通読し、問題集のノートに解答を記入する。
2. 1年生の学年末に既習した内容なので、授業ノートなどを参考にして、知識を確認しながら解いてみる。

④ 学習のポイント・取り組み方の例

1. 「一所懸命」＝「封建制度」について、既習内容を確認しながら、学習ノートに記入する。<30分>
2. 「いざ鎌倉」＝「幕府の仕組みと御成敗式目」について、上記の作業を行う。<30分>
3. 「祇園精舎の鐘の声」＝「鎌倉文化」について、上記の作業を行う。<30分>
4. 「資料から考えよう」＝「封建制度についての資料問題」について、上記の作業を行う。<30分>
5. 「まとめよう」＝「1.～4.までの確認」について、上記の作業を行う。<60分>

⑤ 自己評価の仕方

1. 1年生学年末の授業での既習内容を、正しい知識・理解として定着させているかを、ノート記入の方法で確認させる。
2. 歴史的分野の学習内容の流れの中での知識・理解として評価するために、学校での学習活動が再開された段階で、自己評価をカード形式のプリントに改めて記入させて、評価する。

取り組み時間（目安）

4時間

①学習の目標

いろいろな多項式の計算ができる。

【(多項式) × (数)、(多項式) ÷ (数)、四則が混ざった形の多項式の計算】

②準備するもの

- ・数学リピート学習
- ・教科書
- ・説明プリント

③学習の方法・手順

- ・教科書 P19～P20 の例題を確認する。

(加法と減法の計算方法が不安な生徒は、教科書 P16～P18 も確認する)

- ・リピート 10A～13B を進める。

④学習のポイント・取り組み方の例

☆わからない生徒は、すぐに解答を見るのではなく、教科書の例題や説明プリントを横に置きながら進める。

☆どうしてもわからない問題は、別の紙に答え見ながら取り組み、再度リピートで解き直してみる。

- ・10AB : 1年生の頃に行った分配法則を正しく理解しよう。 $m(a+b) = m \times a + m \times b$
- ・11AB : 多項式を数で割る場合は、乗法に直してから分配法則 乗法に直したらわる数は逆数にする。
- ・12AB、13AB : 分配法則でかっこを外してから、同じ文字の項をまとまる。
- ・13B : 分母を消さないで、通分をする。(答えは、分数の形)
その時、分子に数をかけるときは分配法則を使う。

⑤自己評価の仕方

- ・解答を見ながら、1問ずつ丸付けを行う。
- ・間違えた問題は、赤ペンで途中式を含めて解き直しを行う。(答えを見ながらでも構わない)

①学習の目標

配布されたプリントの内容にそって、学習を進めよう。

②準備するもの

教科書・理科の完全学習（本誌・解答・ノート）、便覧、配布されたプリント

※すべて、1、2年生の教材を準備してください。

※必要に応じて、インターネットを活用しましょう。（保護者の方と使い方は相談すること）

③学習の方法・手順

配布されたプリントに書いてあります。

※今年度、2年生の理科は佐々と西島の2人で担当します。

佐々は2年生の化学（実験関係）、西島は1年生の地学（大地関係）の課題を配布しています。

※佐々のプリントは3週間分を配布しています。

西島のプリントは5月18日からはホームページを見て内容を確認してください。

※すべてのプリントに記名してください。

④学習のポイント・取り組み方の例

1週間にプリント4枚（4時間）を目安に進めましょう。

①プリントの内容にそって、教科書・便覧を使って、新しい内容を学びましょう。

必要に応じて、インターネットで内容を調べたり、動画を見たりし、理解を深めましょう。

②プリントにある問題演習に取り組みましょう。

③内容に対応した、理科の完全学習を解き、丸付け直しをおこないましょう。

※重要用語（教科書の太文字）は覚えるように頑張りましょう。

⑤自己評価の仕方

・解答があるものは、必ず丸付けをおこない、正しい答えを知りましょう。

・「わからなかったこと」「疑問に思ったこと」に印（付せんをつける、蛍光ペンで色を塗るなど）をつけ、

自分なりに調べましょう。休校開けに、先生に質問できるようにしましょう。

①学習の目標

- ① 1年次の重要表現・文法事項を振り返り、理解を深める。
- ② 教科書 p 4, 5 「Unit0」の新出語句と本文の内容を理解する。

②準備するもの

- ① JOYFUL WORKBOOK (ワークブック)
- ② 教科書
- ③ 日本語訳プリント

③学習の方法・手順

<1年次の復習>

- ① ワークブック p 2～5 の問題を解く。
- ② 自分で答え合わせをする。

<教科書 p 4, 5 「Unit 0」>

- ① 教科書の新出語句の意味を確認する。
- ② プリントに日本語訳を記入する。
- ③ 教科書本文を音読する。
- ④ ワークブック p 6、7 をやり、答え合わせをする。
- ⑤ プリントの「英作文に Challenge」や「Q&A」に取り組む。
- ⑥ プリント下部の「Quiz」と「英語しりとり」に取り組む。
- ⑦ 5月25日にホームページにアップされた模範解答を見て、答え合わせをする。

④学習のポイント・取り組み方の例

- ① 1年次の復習含め、何度も繰り返し取り組むことが定着につながります。
- ② Unit 0 の新出語句の意味は、教科書 p 122～に掲載されています。
- ③ 新出語句の単語の発音や本文の音読については、教科書出版会社の東京書籍ホームページ内に、「臨時休業中に児童・生徒が活用できるコンテンツ」として聞くことができますので、アクセスしてみてください。
- ④ 教科書の音読練習ですが、教科書 p 4 は 19 秒以内で、p 5 は 14 秒以内でスラスラ読めるよう練習しましょう。
- ⑤ プリントの模範解答をもとに、しっかり理解を深めましょう。※疑問点や不明点がある場合は、学校再開後に英語科の先生まで聞きに来てください。

★日本語訳プリントは後でノートに貼ってもらいますので、指示があるまで各自保管しておいてください。

⑤自己評価の仕方

- 模範解答をもとに学習内容をチェックする。

① 学習の目標

- ・昭和を代表する日本の作曲家を知ろう

② 準備するもの

- ・学習プリント
- ・TV、PCなど

③ 学習の方法・手順

- ① 知る・・・ NHK 連続テレビ小説「エール」について知る。
- ② 調べる・・・ 作曲家「古関裕而」について調べ、プリントにまとめる。
- ③ まとめる・・・ 楽曲を調べて聴き、感想を書く。

④ 学習のポイント・取り組み方の例

- ① TV や PC を視聴しながら、日本の作曲家について知りましょう。
- ② 興味がでてきたことは、調べましょう。

⑤ 自己評価の仕方

- ・日本の作曲家について知ることができた。
- ・興味をもって調べ学習に取り組むことができた。

*音楽の学習の進め方のプリントや学習プリントの説明を読みながら、取り組んでいきましょう。

①学習の目標

人の関節や筋肉の動きに着目し、生き生きして躍動感あふれる立体をイメージして描こう

②準備するもの

2B鉛筆、色鉛筆、消しゴム、配布されたプリント「美術のステキな課題」「美術課題②」

③学習の方法・手順

前回の「美術のステキな課題」で考えたデザインを見直し、授業での本制作に向けて再度考える。

①大まかに形をとらえる（鉛筆で薄く描く）

②関節や筋肉、服装などの細部を考える

③配色を考える

④学習のポイント・取り組み方の例

基本的にプリントに書かれている説明をよく読んでやりましょう。

・プリントに描く前に、自宅にある別の紙に試し描きするとよい！

・頭などの一部分から描き始めると、枠の中にバランスよくおさまらなくなることがあります。

はじめは全体を大まかにとらえ（最初は棒人間状態でOK）、薄く描いていきましょう！

・頭の大きさ、手足の長さ・太さ、関節の動き、体勢などの様々なことに気を付けて描く

・プリントで紹介したNHK高校講座を見てみたり、インターネット、書籍、美術の教科書や資料集を参考にするとよい！

・新聞をねじったり、紙粘土で形作ってみるのもよい！

※授業で再度、NHKを見たり、ポイントを伝えるので安心して取り組んでください。

※授業で改めて、20分程度でデザインの下書きをします。

プリントを見なくても描けるくらい、デザインを頭に入れておきましょう。

⑤自己評価の仕方

・生き生きとした感じや躍動が表現されているか

・体勢や関節の動きなどが自然であるか

・細部まで描きこむことができているか

上記の3点を、プリントを見て振り返っておきましょう。授業でも振り返りをします。

① 学習の目標

運動やスポーツは、ルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることを理解できるようにする

② 準備するもの

- ・新版中学校保健体育ノート
- ・教科書 中学校保健体育

③ 学習の方法・手順

- ・教科書（P22～23）を読み、新版中学校保健体育ノート（P36～37）のノート❷に内容をまとめましょう。
- ・新版中学校保健体育ノートの！要点のまとめの空欄に最も適切な語句を書きましょう。

④ 学習のポイント・取り組み方の例

①運動やスポーツで自己の記録を更新したり仲間と協力して課題を克服したりしたときどんな気持ちになりましたか。自分の経験などを思い出してノート❷にまとめてみよう。

②運動やスポーツが心にあたえる効果をまとめよう。

例)・ストレスの解消 ・自信が高まる など

③運動やスポーツに求められる社会性についてまとめよう。

例)・ルールを守る など

⑤自己評価の仕方

- ・！要点のまとめの問題をまず教科書を見ないで解き、その後わからない問題は教科書を見て解きましょう。すべて解き終わったら、別冊の解答を見て答え合わせをしましょう。
- ・正解した問題には赤ペンで○をつけ、間違っていたら、正しい答えを書きましょう。

